

7 / 11

大安 木

旬のもの 薩摩芋(さつまいも)

ヒルガオ科。旬は品種により異なりますが夏から秋がおいしい時期です。甘藷(かんしょ)、琉球藷、唐藷とも言います。カルシウム、ビタミンB1、ビタミンC、カロチンが豊富で、腸の働きを活発にするでんぷん質のアミロースや食物繊維を多く含むので、ヘルシー食品として注目されています。原産地は中央アメリカの熱帯域で、大航海時代にスペイン人がヨーロッパに伝え、世界各地に広まりました。日本へは17世紀のはじめ、中国から沖縄、鹿児島に伝わり、18世紀に儒学者・青木昆陽が備荒作物(不作に備えて作るもの)として広く普及させました。薩摩(鹿児島)からのイモで、サツマイモと呼ばれています。

世界人口デー

1987(昭和62)年、世界の人口が50億人を超えたと推定され、これを記念して1989(平成元年)年に制定されました。この日は、人口問題への関心を深めてもらう目的で、世界人口と日本人人口の動向について取りまとめた統計などが発表されています。

しろんど祭

鳥羽市菅島町で行われる伊勢志摩を代表する海女の祭りです。海女がつかいのアワビの初採りを競うもので、最初に採れたものを白髭神社に備え豊魚と海上安全を祈願します。

7 / 12

赤口 金

旬のもの 枝豆(えだまめ)

マメ科。旬は夏から初秋(露地もの)で、ハウスものは春(2~5月)です。ビールとの相性がぴったりの枝豆は、大豆を若いうちに収穫したものです。タンパク質、カルシウム、ミネラル、ビタミンA、B1、B2、C、ナイアシンなどを豊富に含みます。ビタミンB1とCはアルコールの分解を促す役目を果たすので、つまみにするのは理にかなっているわけです。ダダチャ、カオリマメ、十月マメなどといった別称もあります。中国、朝鮮が原産で、日本では1700年ころから栽培されています。現在は露地栽培、ハウス栽培やトンネル栽培などもされ、全国で作られています。

洋食器の日

7(な)1(い)2(ふ)の語呂合わせ。日本金属洋食器工業組合が、生活用品として長い間親しまれてきた洋食器をさらに浸透させたいとの思いから制定した記念日です。

青袖祭

東京都府中市宮町宮乃咩(みやのめ)神社の例祭。1186(文治2)年に源頼朝が武蔵国の神職に天下泰平の祈祷を行うよう命じたことが起源とされ、青い舞衣をつけての舞いが奉納されます。